

# 感染症情報 1月30日～2月5日

府下小児科194医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1,335例(堺市	116例)
②溶連菌感染症	71例(堺市	2例)
③突発性発疹	30例(堺市	4例)
④RSウイルス感染症	29例(堺市	1例)
⑤咽頭結膜熱	26例(堺市	3例)

府下小児科298医療機関(堺市28)から

**インフルエンザ 8,913例(堺市 1,029例)**

報告数での順位である。前週比0.9%増の1,537件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比5%増、堺市で前週110例→今回116例であった。溶連菌感染症が府下で36%減、堺市で前週9例→今回2例であった。RSウイルス感染症が府下で前回より12%増、堺市は前週2例→今回1例であった。咽頭結膜熱が府下では7%減、堺市で前回0例→今回3例であった。

インフルエンザが府下で前週から23%増。堺市で前週から9%増であった。定点あたり大阪府が24.34→29.91、堺市が前週33.86→今回36.75であった。

## 指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告数	1/16～1/22	<b>+42,790例</b> 、累計2,735,297例に、
	1/23～1/29	<b>+27,524例</b> 、累計2,762,821例に、
	1/30～2/5	<b>+19,779例</b> 、累計2,782,600例になっていた。
陽性率	1/18～1/24	166,292検査中、 <b>29,912件</b> 陽性、陽性率18.0%、
	1/25～1/31	152,955検査中、 <b>20,326件</b> 陽性、陽性率13.3%、
	2/1～2/7	144,032検査中、 <b>14,851件</b> 陽性、陽性率10.3%

(12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる)に変更した)

【堺市の推移】(9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している)

陽性者数	1/16～1/22	<b>+3,846例</b> 、累計は221,744例であった。
	1/23～1/29	<b>+2,439例</b> 、累計は224,183例であった。
	1/30～2/5	<b>+1,779例</b> 、累計は225,962例であった。
陽性率	1/19～1/25	14,087検査中、 <b>3,160件</b> 陽性、陽性率 <b>22.4%</b> 、
	1/26～2/1	13,328検査中、 <b>2,064件</b> 陽性、陽性率 <b>15.5%</b> 、
	2/2～2/8	13,078検査中、 <b>1,650件</b> 陽性、陽性率 <b>12.6%</b>

麻疹や風疹の報告はなかった。